※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	ビジネス情報	単位数	４	年次	２～４
使用教科書	「ビジネス情報　新訂版」　　（実教出版）						
副教材等	全商　情報処理検定　模擬問題集　２級　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

EXCEL の関数（全勝情報処理検定２級の内容中心に）を勉強します。毎回授業の課題をしっかりと提出しましょう。

２　学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を育成することをめざす。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ソフトウェアの活用と環境について理解するとともにその技術を身に付けている	ソフトウェアを活用することの課題について改善と関連付けて見いだしている	エクセルの関数の文法を正しく覚え、実践に応用できるようになる	企業活動の改善に主体的かつ協働的に取り組んでいるか
評価方法	授業中の提出物	応用問題	定期考査（実技）	定期考査（筆記）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期		第1章　ビジネスと情報(企業活動とソフトウェアの活用) 第2章　情報通信ネットワークの活用(表計算ソフトウェアの活用) 第3章　表計算ソフトウェアの活用(データベースソフトウェアの活用)	○	○	○	○	a:　ソフトウェアの活用と環境について理解するとともにその技術を身に付けている c:　ソフトウェアを活用することの課題について改善と関連付けて見いだしている b:　企業活動の改善に主体的かつ協働的に取り組んでいるか d:　実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている a:情報を集計、分析するとともに、その結果を表現し、評価することができる b:情報の効率的な分析に主体的かつ協働的に取り組んでいるか c:実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている d:情報を集計、分析するとともに、その結果を表現し、改善することができる	授業での発言 行動観察 実習課題 ノート ワークシート 質疑応答 小テスト 定期考査
後期		第4章　データベースソフトウェアの活用(業務処理用ソフトウェアの活用) 第5章　ソフトウェアを活用したシステム開発(情報システムの開発)	○	○	○	○	a:　実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている b:　業務を効率的に処理し、評価することができる c:　実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている d:　業務の効率的な処理に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	授業での発言 行動観察 実習課題 ノート ワークシート 質疑応答 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。